

どんな子どもにも幸せな子ども時代を過ごしてほしい。遊びが学びへとつながっていく、この人間の自然な育ちを大切にしたい学校をつくりたい。そうした思いをベースに私たちは、3歳から15歳までが一つの校舎で学ぶ「軽井沢風越学園」を2020年4月に開設しました。

私たちは、講義中心の一斉授業・画一的なカリキュラム・固定的な学級編成等に代表されるような従来型の学校教育に限界を感じている一方で、子ども自身と公教育の可能性を信じています。自分はどんなことに幸せを感じるのだろうか、また自分以外と一緒に生活する仲間や生き物・自然を含めて、幸せになるってどういうことだろうか、と考え続けてもらいたいという願いがあります。

軽井沢風越学園は、子どもも大人も「つくる」経験を、じっくり、ゆったり、たっぷり、まざって積み重ねていきます。本気で手間をかけて「つくる」ことに没頭し、ときには不安や不安定さを味わいながら「つくる」ことに挑戦していきます。私たちは子どもこそがつくり手であることを信じています。

ここでいう「つくる」は物理的なものや学習の成果物だけにとどまりません。安全・安心な場を自分たちでつくる、学びをつくる、自分たちの学校をつくる、コミュニティをつくる、仕組みをつくる、ルールをつくる、自分をつくる。つまり、「わたし(たち)の未来をわたし(たち)でつくる」冒険をするのです。子どもたち、スタッフ、保護者、地域の方々など、軽井沢風越学園では誰もがづくり手です。「つくる」ことを通じて、「自由に生きる」ということと「自由を相互に承認する」ということを繰り返して試していきます。そうすることで、1人ひとりが幸せになり、幸せな社会をつくっていくのです。

(引用：風越学園HP <https://kazakoshi.ed.jp/>)



講師紹介【岩瀬直樹さん】

北海道札幌市出身。東京学芸大学大学院教育学研究科修士課程修了。埼玉県の公立小学校教諭として、4校で22年間勤め、学習者中心の授業・学級づくりに取り組む。2015年に退職後、東京学芸大学大学院教育学研究科 教育実践創成講座 准教授として就任。学級経営、カリキュラムデザイン等の授業を通じて、教員養成、現職教員の再教育に取り組んだ。

2016年12月、軽井沢風越学園設立準備財団設立に参画し、2019年10月学校法人軽井沢風越学園設立。2020年より軽井沢風越学園校長。2022年5月軽井沢風越ラーニングセンターを開所し、スクールベースの教師教育に挑戦している。

(主な著作)

『増補改訂版『振り返りジャーナル』で子どもとつながるクラス運営—信頼ベースのクラスをつくる最高のツール』(学事出版 2024年) (共著)

『「校内研究・研修」で職員室が変わった！—2年間で学び続ける組織に変わった小金井三小の軌跡』(学事出版、2020年) (共著)

「風越ラーニングセンター」

軽井沢風越学園は、2022年5月に「軽井沢風越ラーニングセンター」を開所しました。「子どももおとなもづくり手であること」、「おとなも学び続けること」の実現に向けて、3つの目標を掲げています。また、その目標を達成するために、①スタッフ研修/実践ラボ・実践研究事業と②自治体連携事業を行うことで、スクールベースの強みを生かした理論と実践を往還した大人の学びの可能性を追求します。

ラーニングセンターの3つの目標

1. 「学習者中心の学びのための、スクールベースの教師教育プログラム」の開発
2. プロジェクト型学習による探究的な学びをつくるために必要な、教師の力量形成の道すじを明らかにする
3. 風越学園スタッフの実践・研究の推進

(引用：風越学園HP)

<https://kazakoshi.ed.jp/klc/>

※ 研修会当日は、岩瀬さんにファシリテートしていただきながら、参加者同士で考え合い、学び合える創発・探究・気づきを大切にしたいワークショップ型研修を行います。

【確認・留意事項 (必ず確認してください)】

- ① キャンパス内は全面禁煙です。また、キャンパス内に内に駐車場はありません。公共交通機関を利用するか近隣の駐車場をご利用ください。なお、開催日当日は愛媛大学キャンパス内で複数の学会の大会や研修会が実施される予定です。近隣の駐車場を含め、混雑が予想されますので、時間に余裕をもってお越しください。
- ② 自主研修ですので、カジュアルな服装で参加していただいて構いません。
- ③ 先着順の申し込みにしていますので、どうしても参加ができなくなった場合は、分かった時点で辞退の連絡をしてください。次点の方に参加していただきます。ご協力をよろしく願います会の様子を撮影します。撮影した画像は個人が特定されない範囲で、HP・報告書等に活用します。予めご了承ください。
- ⑤ 当日は、基本的な感染対策にご協力ください。また、スタッフの指示に従ってください。
- ⑥ イベント中に起こった事故、トラブルなどに関しては、主催者・講師ともに一切の責任を負いません。ご了承ください。方のみご参加ください。

※ 本研修会は、JSPS科研費 22K02576「個人と社会の変容を醸成するホールコミュニティアプローチ型ESD学習システムの開発」の助成の助成を受けて実施します。

科研費
KAKENHI